

埋蔵文化財調査センター講演会 「新発見!! 石見最大の縄文ムラ」 ～古屋敷遺跡が語る縄文文化～

11月26日に大田市民会館で、石見地方を代表する縄文時代の集落遺跡である古屋敷遺跡（大田市仁摩町）をテーマとした講演会を開催しました。

はじめに国立歴史民俗博物館の山田康弘教授の講演があり、中国地方の縄文時代集落遺跡の特徴を紹介しながら、古屋敷遺跡の重要性について示されました。

つづいて発掘調査担当者による報告が行われ、古屋敷遺跡の発掘調査の成果や縄文人の暮らしぶりについて解説を行いました。

最後に登壇者による鼎談が行われ、約100人の聴講者が見守るなか、古屋敷遺跡に意義について意見が交わされました。



講演会のようす

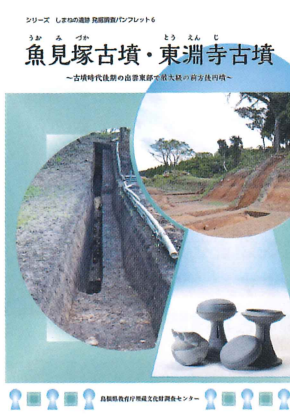
パンフレット紹介

●最新刊です！

平成24年度から27年度にかけて行った松江市東淵寺古墳と魚見塚古墳の調査・研究の成果をまとめたパンフレットです。2つの古墳が古代出雲でどのような歴史的位置を占めていたのか、わかりやすく解説しています。県内の図書館や文化財関係施設等に配布していますが、ご希望の方は無料で配布します。

(問い合わせ先：0852-36-8608)

シリーズしまねの遺跡パンフレット6 「魚見塚古墳・東淵寺古墳」



しまねのまいぶんミュージアム 吉賀町立水源会館（吉賀町田野原）

水源会館は高津川の水源とされる大蛇ヶ池を中心とした水源公園内の展示施設です。「水と龍」をテーマにした展示とともに、吉賀町内の遺跡から出土した遺物を展示しています。

このうち前立山遺跡から出土した土器や石器は、石見地方山間部の弥生時代から古墳時代にかけての集落の変遷を物語る重要な資料です。このほか、河内遺跡から出土した陶磁器や九郎原遺跡の縄文土器や石器などが展示されています。

開館時間 9:00～17:00 火曜日定休

12月～2月は閉館（1月2～4日は除く）



水源会館（中央の建物）

島根県の埋蔵文化財情報誌

ドキ土器
まいぶん

No.61

発行：平成29年3月

編集・発行
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
〒690-0131 松江市打出町33
TEL.0852-36-8608 FAX.0852-36-8025
E-mail: maibun@pref.shimane.lg.jp
http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/



わかりやすい！島根県の埋蔵文化財情報が満載！

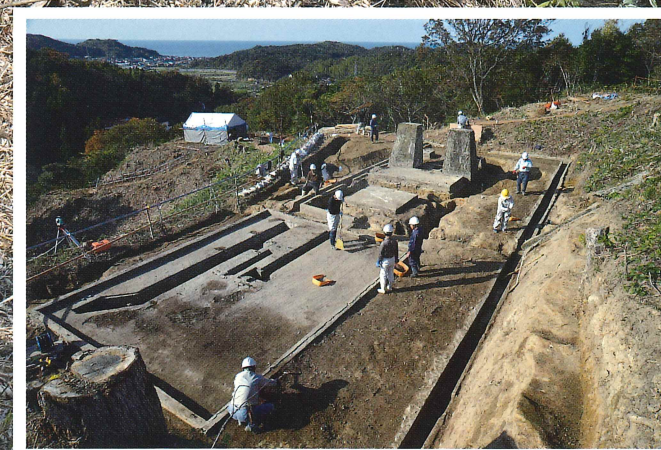
島根県の埋蔵文化財情報誌

ドキ土器
まいぶん

No.61



まいぶんくん



ポンプ小屋の基礎（手前）と変電施設跡（奥）

選鉱場跡

70年ぶりによみがえる島根県屈指の砂鉄選鉱場

① 久村鉱山跡（出雲市多伎町）

一般国道9号（湖陵多伎道路）建設に伴う発掘調査で、戦時中に採集された砂鉄鉱山選鉱場が姿を現しました。久村鉱山は太平洋戦争開戦に伴う特殊鋼材の需要（航空機のエンジン耐熱鋼など）をまかなうため、海軍の命令で株式会社日立製作所安来工場（現・日立金属株式会社安来工場）が急遽開発した鉱山です。久村鉱山では今から約1600万年前に海岸に堆積した砂鉄が固まってできた鉱石を採掘し、それを細かく砕いて精鉱を生産していました。今回の調査では、鉱石を砕く選鉱場と、電気や水を供給した変電施設と貯水槽、ポンプ小屋跡も見つかっています。久村鉱山は良質な鉄資源に恵まれた島根県ならではの遺跡であり、戦時下に国策による鉄鋼増産が行われた様子を知ることができる貴重な近代遺産といえます。

